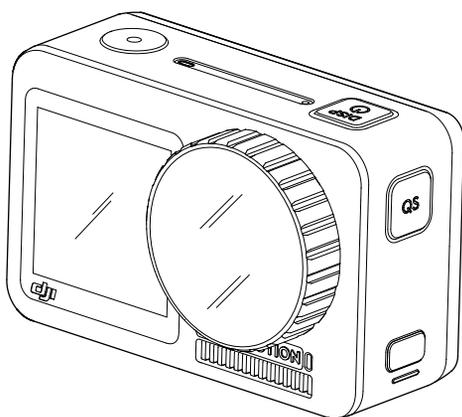


# OSMO ACTION

## ユーザーマニュアル

v1.0 2019.05



## 🔍 キーワードの検索

「バッテリー」や「取り付け」などのキーワードを検索して、トピックを見つけます。Adobe Acrobat Readerを使用して本書を読んでいる場合、WindowsではCtrl+F、MacではCommand+Fを押して検索を開始します。

## 👉 任意のトピックへの移動

目次のトピックの全リストが表示されます。トピックをクリックすると、そのセクションに進みます。

## 🖨️ 本書の印刷

本書は高解像度印刷に対応しています。

# 本マニュアルの使用方法

## 凡例

⚠️ 重要

💡 ヒントとコツ

## ご使用前にお読みください

OSMO™ Actionを使用する前に以下の書類をお読みください：

1. ユーザーマニュアル
2. 免責事項と安全に関するガイドライン

DJI™の公式ウェブサイト ([www.dji.com/osmo-action](http://www.dji.com/osmo-action)) もしくはDJI Mimoアプリ内にあるすべてのチュートリアルビデオの視聴をお勧めします。初回使用前に、ユーザーマニュアル、および免責事項と安全に関するガイドラインをお読みください。

## DJI Mimoアプリのダウンロード

QRコードをスキャンするか、App StoreまたはGoogle Playで「DJI Mimo」を検索してください。



Android版のDJI Mimoアプリは、Android v6.0以降で動作します。iOS版のDJI Mimoアプリは、iOS v10.0以降で動作します。

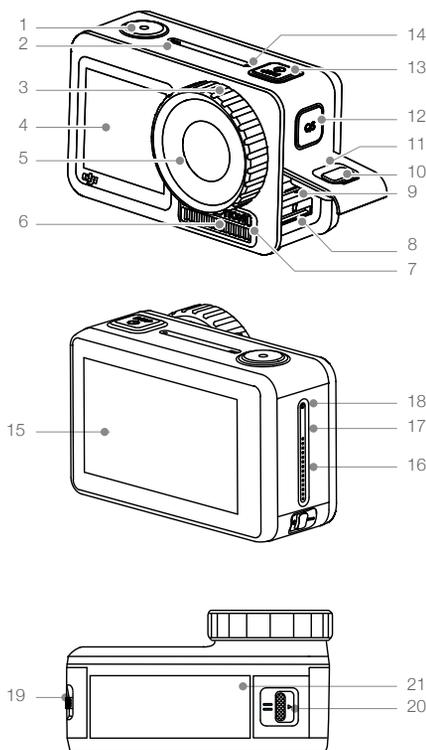
# 目次

<b>本マニュアルの使用方法</b>	2
凡例	2
ご使用前にお読みください	2
DJI Mimoアプリのダウンロード	2
<b>はじめに</b>	4
概要	4
バッテリーの取り付け	5
Osmo Actionのアクティベーション	5
<b>Osmo Actionの充電</b>	6
<b>操作</b>	6
ボタン機能	6
タッチスクリーンの操作	8
写真および動画の保存	10
ステータスLEDの説明	10
DJI Mimoアプリ	11
<b>ファームウェアの更新</b>	13
<b>メンテナンス</b>	14
水中での使用上の注意	14
お手入れ	14
<b>仕様</b>	15
<b>アフターサービス情報</b>	15

## はじめに

Osmo Actionは、DJIの最新テクノロジーRockSteady EISやデュアルスクリーンを搭載したアクションカメラです。12MPの鮮明な写真を撮影したり、最大4K/60fpsで安定した動画を撮影したり、HDR動画も撮影できます。背面スクリーンは、高い反応性を誇るタッチスクリーンですぐに設定変更できます。前面スクリーンは、完璧なセルフイーを撮影するのに役立ちます。音声操作、カスタムモード、クイックスイッチボタン、SnapShot機能を備え、ユーザーは数秒で電源を入れて、すぐに写真を撮ったり動画を録画したりできます。Osmo Actionは最大11 mの深さまで使用できる防水性も備えています。数種類のアクセサリとの互換性もあるので、Osmo Actionを使用して創造性を広げましょう。

### 概要



1. シャッター／録画ボタン
2. ステータスLED I
3. レンズフィルターキャップ
4. フロント画面
5. レンズ
6. 通気エリア
7. ステータスLED II
8. microSDカードスロット
9. USB-Cポート
10. カバーロック解除ボタン
11. USB-Cカバー
12. クイックスイッチ ボタン
13. 電源ボタン
14. マイク I
15. タッチスクリーン
16. スピーカー
17. 空気圧調整穴
18. マイク II
19. バッテリー取り外しボタン I
20. バッテリー取り外しボタン II
21. バッテリー



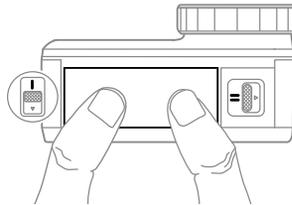
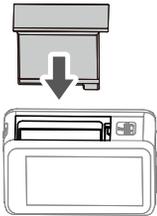
- レンズフィルターキャップと通気口は、使用中に高温になることがあります。やけどする恐れがあるので、触れないようにしてください。
- 最高の防水性能を得るために、必要な場合以外はレンズフィルターキャップを外さないでください。

## バッテリーの取り付け

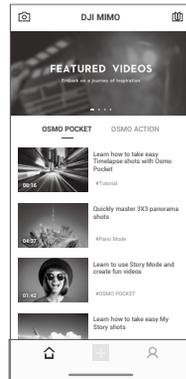
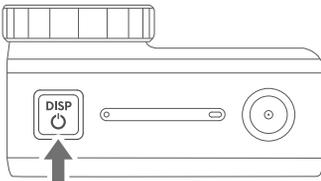
カメラフレームは初期状態では取り付けられているので、バッテリーを取り付ける前にフレームを取り外す必要があります。



バッテリーを図のように挿入します。バッテリーの両端を押して、バッテリーが正しく挿入されていることを確認してください。バッテリーが正しく挿入されていると、バッテリーの両側にあるオレンジ色のマークが見えなくなります。



## Osmo Actionのアクティベーション

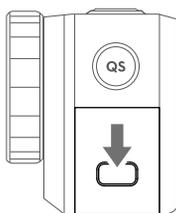


Osmo Actionを使用する場合は、DJI Mimoを介したアクティベーションが必要です。アクティベーションは次の手順に従ってください。

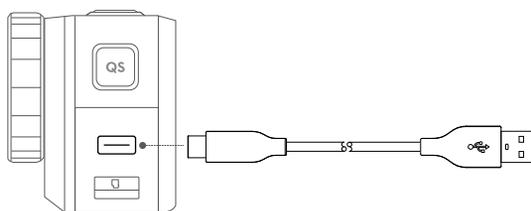
1. 電源ボタンを長押しして電源を入れます。
2. モバイル端末のBluetoothを有効にします。
3. DJI Mimoを起動して左上隅にあるをタップします。指示に従ってOsmo Actionのアクティベーションをします。

## Osmo Actionの充電

USB-Cカバーのカバーロック解除ボタンを押して、カバーを下にスライドさせます。



Osmo Actionを充電するには、電源ケーブル（同梱）でUSBアダプター（非同梱）と本機のUSB-Cポートを接続します。充電中はステータスLEDが赤く点灯します。ステータスLEDが消灯するとバッテリーの充電は完了です。



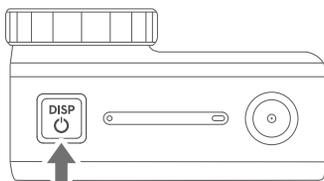
充電時間：約1時間30分（5 V/2 AのUSBアダプターを使用した場合）

カメラフレームを取り付けた状態でOsmo Actionを充電する場合は、USB-Cカバーを取り外すことをお勧めします。取り外すには、USB-Cカバーをクイックスイッチボタンの方向に引き抜きます。

\*充電時間は参考値です。

## 操作

### ボタン機能



電源ボタン

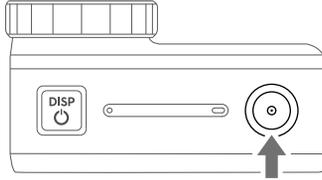
## 電源ボタン

Osmo Actionの電源が切れているときは、電源ボタンを押して電源を入れます。

Osmo Actionが録画中またはDJI Mimoに接続されているときは、電源ボタンを押すと、タッチスクリーンがオフになります。もう一度押すと、タッチスクリーンがオンになります。タッチスクリーンがオフになっているときにOsmo Actionが録画している場合は、録画が続けられます。

電源が入っているときにOsmo Actionがアイドル状態でDJI Mimoに接続されていないときは、電源ボタンを押すと、スリープモードに入ります。もう一度押すと、スリープモードを終了します。

Osmo Actionの電源が入っているときに、電源ボタンを長押しすると電源が切れます。

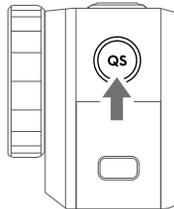


シャッター／録画ボタン

## シャッター／録画ボタン

押すと、写真を撮影するか、録画を開始／停止します。

SnapShot（スナップショット）：デバイスの電源がオフまたはスリープモードの場合に利用できません。スナップショット設定で、スナップショットモードは設定できます。詳細については「タッチスクリーンの操作」セクションを参照してください。



クイックスイッチ ボタン

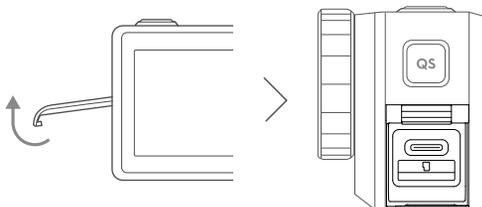
## クイックスイッチ ボタン

カメラビュー表示時は、ボタンを押すとクイックスイッチメニューが表示され、撮影モードを選択できます。アイコンをタップすると、その撮影モードが選ばれます。

設定ページまたは再生画面表示中は、押すとカメラビューに戻ります。

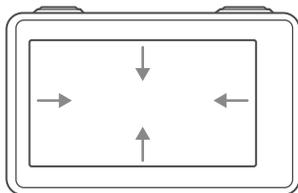
長押しすると、前面スクリーンとタッチスクリーンのカメラビューが切り替わります。\*

\* 動画の録画中に画面が切り替わると、動画は録画を停止し、新しい動画の録画が始まります。



## タッチスクリーンの操作

以下の説明は、背面のタッチスクリーンにのみ適用されます。前面スクリーンでは動作しません。



### 下にスワイプ

#### カスタムモードの作成/管理

⊙をタップして、アイコンを再度タップすると、現在の設定をカスタムモードとして保存します。最大5つのカスタムモードを保存できます。左右にスワイプして、保存したカスタムモードを選択します。モードを削除するには、右下隅にある[削除]をタップします。

### 明るさ

☼をタップして、スライダを動かすと、明るさを調整します。

### 画面ロック

🔒をタップすると、画面がロック状態になります。画面のロックを解除するには、画面をタップしてスライダーを動かします。

## 設定

### クイックアクション

1. 音声操作：音声操作を有効にして音声コマンドでOsmo Actionを使用します。音声コマンドには、Start Recording（録画開始）、Stop Recording（録画停止）、Take Photo（写真撮影）、Screen Switch（画面切替）、およびShut Down（シャットダウン）があります。英語と標準中国語に対応しています。
2. SnapShot：Osmo Actionの電源が切れているとき、またはスリープモードになっているときは、スナップショットを使うとすばやく電源が入り撮影を開始できます。対応している撮影モードには、動画、写真、スローモーション、HDR動画、バースト、タイマー撮影、AEB、カスタムモード、およびタイムラプスがあります。
3. クイックスイッチ：クイックスイッチを使用すると、モード間の切り替えやカスタム設定をすばやく切り替えることができます。対応している撮影モードには、動画、写真、スローモーション、HDR動画、バースト、タイマー撮影、AEB、カスタムモード、およびタイムラプスがあります。

### 一般

1. ワイヤレス接続：タップすると、ワイヤレス情報でカメラ名とパスワードを確認でき、Wi-Fi周波数を設定したり、接続のリセットでWi-Fiパスワードとすべての接続をリセットします。
2. 風ノイズ低減：タップすると、風のノイズ低減が有効または無効になります。
3. 音：大/中/小/オフから選択します。
4. グリッド：タップして、グリッドを有効または無効にします。
5. 顔認識 自動露出：顔が検出されると、顔への露出が優先されます。
6. ちらつき防止：現地の法令に従った周波数を選択することで光のちらつきを防止します。
7. 画面自動スリープ：タップすると、Osmo Actionがスリープモードに入るまでの時間を設定できます。

8. 自動電源オフ：タップすると、Osmo Actionが自動電源オフになるまでの時間を設定できます。
9. LED：Osmo Actionの2つのステータスLEDをオンまたはオフにします。
10. 言語：言語を英語／簡体中国語／繁体中国語／日本語／韓国語／ドイツ語／フランス語に設定します。
11. 日付/時刻：タップして日付と時刻を設定します。
12. SDカードをフォーマット：タップしてmicroSDカードを初期化します。
13. 工場出荷時の設定に戻す：タップして設定を初期状態にリセットします。
14. 詳細：タップすると、名前、シリアル番号、ファームウェアのバージョンおよび規制情報が表示されます。

## 画面フリップ

をタップすると、画面の向きを上／下／自動に切り替えます。

## スポット測光

をタップしてスポット測光を有効または無効にします。スポット測光を使用するには、画面を長押しします。再度タップするとAEロックが有効になり、画面を長押しするとAEロックが無効になります。

## 音声操作

をタップすると、音声操作を有効または無効にします。

## フロント画面の設定

をタップすると、全画面とレターボックス表示を切り替えます。

## 上へスワイプ

上にスワイプしてから左右にスワイプすると、写真の比率／カウントダウン時間／解像度などのパラメーターを設定できます。動画モード中は、RockSteady\*をタップすると、電子式映像ブレ補正を有効または無効にします。パラメーターは撮影モードによって異なり、RockSteadyは特定の解像度では使用できないことに注意してください。

\* RockSteadyは、ファームウェアの更新が必要です。

## 左へスワイプ

### 露出パラメーター設定

自動モードでは、EVと最大 ISO値を設定できます。ISO値は使用中に設定範囲内で自動的に調整されます。

マニュアルモードでは、シャッター速度とISO値を設定できます。注意：最大 ISO値は、ISO値が自動に設定されている場合にのみ設定できます。

### / 写真／動画設定

ホワイトバランスの設定、ノーマルとD-Cinelike\*の間でカラーモード選択、歪み補正のオン／オフ切替、フォーマットの選択が設定できます。

\* D-Cinelikeは色と明るさのデータ保持性を高め、ポストプロダクションにおける柔軟性を高めます。

## 右へスワイプ

右にスワイプしてから左右にスワイプすると、写真や動画をスクロールできます。タップすると、動画は再生されます。お気に入りを追加したり、写真や動画を削除するには、該当のアイコンをタップしてください。上部の左上にあるをタップすると、カテゴリ別の写真と動画を表示します。

写真を見るときは、画面の左側にあるスライダを上下に動かして明るさを調整します。中央下のアイコン **16:9**をタップしてタイマー撮影とバースト写真を表示します。

動画を見るときは、画面の左側のスライダを上下に動かして明るさを調整し、右側のスライダを動かして音量を調整します。進捗バーをドラッグすると、動画を視聴します。

## タップ

カメラビューの左下隅にあるアイコンをタップして撮影モードを選択します。

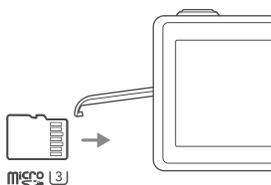
## 2本指でダブルタップ

カメラビューでタッチスクリーンを2本の指でダブルタップすると、フロント画面と背面のタッチスクリーンが切り替わります。

## 写真および動画の保存

Osmo Actionで撮影した映像は、microSDカード（非同梱）に保存できます。高解像度動画データの保存には高速の読み書き速度が必要なため、UHS-Iスピードクラス3規格のMicroSDカードが必要です。詳細については、[www.dji.com/oso-action](http://www.dji.com/oso-action)で記載されている推奨microSDカード一覧を参照にしてください。

microSDカードを図のようにmicroSDカードスロットに挿入します。

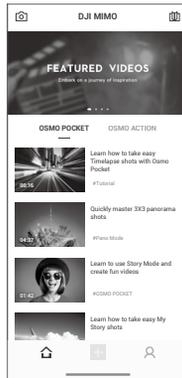


## ステータスLEDの説明

Osmo Actionには2つのステータスLEDがあり、同じ情報を示しています。ステータスLEDはオン/オフを切り替えることができます。

点滅パターン	説明
緑色に点灯	撮影準備が整った状態です。
オフ	microSDカードが検出されなかったか、microSDカードのストレージが不足しています。充電中はOsmo Actionの電源がオンになります。
赤色に点灯	USBケーブル接続中またはOsmo Action充電中で電源がOFFの状態です。
すばやく2回赤く点滅	高温警告、ローバッテリー残量警告、バッテリーの異常、またはmicroSDカードの異常（microSDカード未検出、microSDカード容量不足、またはmicroSDカードエラー）
赤色と緑色に交互に点滅	ファームウェア更新中
1秒間赤く点滅	バッテリーが挿入済み、USB-Cポートに接続中、またはOsmo Actionの電源オン/オフ中。
一時的にオフ	写真を撮影中。
毎秒1回点滅 (カウントダウン：10秒～4秒)	Osmo Actionはタイマー設定時の写真撮影のカウントダウンをしています。
毎秒2回点滅 (カウントダウン：3秒～2秒)	
赤く点灯 (カウントダウン：1秒～0秒)	
一時的に赤 (カウントダウン後)	
毎秒1回点滅	Osmo Actionは動画を録画しているか、またはタイマー撮影しています。

## DJI Mimoアプリ



**📷 カメラビュー**：タップしてOsmo Actionに接続します。一旦接続していると、DJI Mimoはカメラビューに入ります。

**🏠 ホーム**：タップすると、ホームへ戻ります。

**✚ 編集**：タップすると、Osmo Actionからの写真や動画を編集したり、インポートしてモバイル端末から編集をします。

**👤 プロフィール**：DJIアカウントへの登録またはログインします。作品や設定を表示、いいね！やフォロワーの確認、他ユーザーへのメッセージ送信、およびDJIストアへの接続ができます。

**📖 アカデミー**：タップすると、チュートリアルやマニュアルを閲覧できます。

## カメラビュー



### 1. ホーム

🏠 : タップすると、ホームページへ戻ります。

### 2. Wi-Fi

📶 : Wi-Fi接続の状態を表示します。

### 3. バッテリー残量

🔋 99% : Osmo Actionの現在のバッテリー残量を表示します。

### 4. microSDカード情報

📄 25:56 : 現在の撮影モードに応じて、撮影できる写真残数か、録画できる動画の残り時間を表示します。

### 5. AEロック

🔒 AE : スポット測光を有効にした後にタップして、AEロックを有効または無効にします。

### 6. シャッター／録画ボタン

📷 : タップすると、写真を撮影するか、動画の録画を開始／停止します。

### 7. 撮影モード

スクロールして撮影モードを選択します。タイムラプス、スローモーション、HDR動画、動画および写真の中から選択します。

### 8. 再生

▶ : タップすると、写真や動画をプレビューします。

### 9. 撮影モードの設定

1/8000 ISO 6400 📷 +3.0 : 撮影モードの設定を表示します。

### 10. 設定

⋮

撮影モード	設定
タイムラプス	歪み補正、フォーマット、ホワイトバランス、ISO最大値、ちらつき防止、グリッド、露出オーバー警告、ヒストグラム
スローモーション	動画形式、ホワイトバランス、ISO最大値、カラー、グリッド、露出オーバー警告、ヒストグラム
HDR動画	歪み補正、動画形式、ホワイトバランス、グリッド、露出オーバー警告、ヒストグラム
動画	歪み補正、Rocksteady*、動画形式、ホワイトバランス、ISO最大値、ちらつき防止、グリッド、露出オーバー警告、ヒストグラム
写真	歪み補正、写真形式、縦横比、スポット測光、ホワイトバランス、ISO最大値、ちらつき防止、グリッド、露出オーバー警告、ヒストグラム

\* RockSteadyはファームウェアのアップデートが必要です。

一般設定：端末管理、SDカード容量、SDカードを初期化、画面のフリップ、風ノイズ低減、音声操作、音声言語、コマンド一覧、Wi-Fi設定、Wi-Fi周波数の切り替え（日本未搭載）、ファームウェアバージョン、詳細。

## 11. カメラ設定

撮影モード	設定
タイムラプス	解像度&FPS、ビデオフレームレート、ISO、シャッター、EV
スローモーション	解像度&FPS、速度、ISO、シャッター、EV
HDR動画	解像度&FPS、ビデオフレームレート
動画	解像度&FPS、ビデオフレームレート、ISO、シャッター、EV
写真	AEB、シングルショット、パースト、タイマー撮影、ISO、シャッター、EV

## ファームウェア更新

Osmo Actionのファームウェアは、DJI MimoまたはmicroSDカードを使用して更新できます。

### DJI Mimoを使う

新しいファームウェアが利用可能になると、DJI Mimoの画面にアラートが表示されます。指示に従ってファームウェアを更新してください。

### microSDカードを使う

公式のDJI Webサイトから最新のファームウェアをmicroSDカードのルートディレクトリにダウンロードします。

1. microSDカードを挿入してOsmo Actionの電源を入れます。新しいファームウェアが検出されると、更新は自動的に開始されます。
2. 更新中は、ステータスLEDインジケーターが赤と緑に交互に点滅し、画面にリマインダーが残ります。操作は必要ありません。
3. 更新が完了すると、Osmo Actionは自動的に再起動します。



- ファームウェア更新には、microSDカードが必要です。
- ファームウェア更新の前に、Osmo Actionのバッテリー残量が15%以上あることを確認してください。

## メンテナンス

### 水中での使用上の注意

1. バッテリーを挿入する前に、バッテリーとバッテリー収納部が乾いて清潔であることを確認してください。バッテリーの接触や防水性に影響を与える恐れがあります。使用中にバッテリーが正しく挿入されていることを確認してください。バッテリーが正しく挿入されていると、バッテリーの両側にあるオレンジ色のマークは見えません。
2. 使用する前に、USB-Cカバーが清潔でちゃんと閉じていることを確認してください。デバイスの防水性能に影響を与える恐れがあります。
3. レンズフィルターキャップが良好な状態で、損傷していないことを確認してください。損傷がある場合は、ただちに交換してください。レンズフィルターキャップやレンズを清潔で乾燥した状態に保ってください。鋭利なものや硬いものはレンズを傷つけ、防水性に影響を与える恐れがあります。使用中はレンズフィルターキャップが正しく締め付けられていることを確認してください。
4. バッテリーを正しく挿入し、USB-Cカバーを正しく閉じ、レンズフィルターキャップが正しく取り付けてください。そうしないと、Osmo Actionは防水性を発揮できません。
5. Osmo Actionは、水中最大11 mの深さまで使用できます。防水ケースを使用する場合、最大水深は60 mです。
6. Osmo Actionを持って水に飛び込まないでください。
7. Osmo Actionを温泉で使用しないでください。
8. 水中で使用した後は、きれいな水でOsmo Actionを洗浄してください。再度使用する前に自然乾燥させてください。

### お手入れ

1. 水、レンズクリーニングペン、レンズエアブローワー、またはレンズクリーニングクロスを使って、レンズフィルターキャップをきれいにしてください。
2. レンズクリーニングペン、レンズエアブローワー、またはレンズクリーニングクロスを使って、レンズをきれいにしてください。
3. 使用前に内部に異物がある場合は、カメラと通気口の穴を水で洗浄してください。穴をついたりしないようにしてください。洗浄できない場合は、DJIサポートに連絡してください。
4. 乾いた清潔な布で、バッテリーとバッテリー収納部を掃除してください。
5. Osmo Actionにあるすべての穴には、防水処理が施されています。防水材をはがしたり、穴を開けたりしないでください。Osmo Actionの防水性能が失われます。

## 仕様

モデル	AC001
Wi-Fi	
動作周波数	2.400~2.4835 GHz、5.725~5.850 GHz* (FCC/CE/SRRC) 2.400~2.4835 GHz(MIC (日本))
出力 (EIRP)	2.4 GHz : ≤19 dBm (FCC/CE/SRRC/MIC (日本)) 5.8 GHz : ≤13 dBm (CE)、≤19 dBm (FCC/SRRC)
プロトコル	802.11a/b/g/n/ac
Bluetooth	
動作周波数	2.400~2.4835 GHz
出力 (EIRP)	4 dBm
プロトコル	BLE 4.2
バッテリー	
容量	1300 mAh
電圧	3.85 V
充電電圧制限	4.4 V
タイプ	LiPo 1S
電力量	5.005 Wh

\* 5.8GHzは、一部の地域では対応していません。(日本国内では2.4GHzのみ利用可) 現地の法律および規制の順守。

## アフターサービス情報

アフターサービスポリシー、修理サービス、サポートについては、<https://www.dji.com/support>で確認してください。



オンラインサポートを利用するには、このコードを  
Facebook Messengerでスキャンしてください。

本内容は変更されることがあります。

**最新版は下記よりダウンロードしてください。**

**<http://www.dji.com/osmo-action>**

OSMO はDJI OSMOの商標です。  
Copyright © 2019 DJI OSMO All Rights Reserved.